

# 2020年 創立140周年 8学部20学科に

# 一三エス専修

専修大学ホームページ

https://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行  
発行所  
専修大学広報課  
☎101-8425  
東京都千代田区  
神田神保町3-8  
☎03-3265-5819(直)

## 主なニュース

- 10 裁判員制度10年で関連本出版 記念シンポジウム……
- 9 豊かな学びをサポート 神田・生田に学生相談室……
- 8 奥村国際交流センター長「国際的な視野を養おう」……
- 7 石川さん(経営2) 西日本豪雨被災地ボランティア……
- 6 学校法人専修大学 本年度事業計画・予算……
- 5 石巻専修大学 専大に国内留学 初の女子学生3人も……

## 2019 入試イベント

オープンキャンパス

神田 6.16(日) **ペアレンツフェア**

神田 7.14(日)

生田 8.3(土)・4(日)  
8.24(土)・25(日)

2020.3.20(祝・金)  
**体験授業フェア**

入試相談会  
生田 11.3(日)

入試直前対策講座  
生田 11.10(日)  
神田 11.17(日)

11.23(祝・土)  
仙台 郡山  
新潟 長野  
静岡 名古屋

キャンパスツアー  
神田 生田 6~12月

入学センターインフォメーション  
【神田キャンパス】  
☎03-3265-6677  
【生田キャンパス】  
☎044-911-0794

専修大学に2020年度、新学部・国際コミュニケーション学部が誕生する。4月26日、文部科学省に設置届けを出した。国際コミュニケーション学部は日本語学科(文学部日本語学科から改組)と異文化コミュニケーション学科(新設)からなる。新学部の設置は2010年の人間科学部以来10年ぶり。

また、同日、経済学部新学科の設置についても文科省に届け出た。経済学学科を再編して、現代経済学学科と生活環境経済学学科とし、既存の国際経済学学科と合わせて3学科体制とする。これにより、20年度から専修大学は8学部・20学科になる。

神田キャンパスでは既存の法学部に加え、国際コミュニケーション学部、生田キャンパスから移転する商学部の3学部が展開される。3学部共通科目を設置し、シナジー効果を高める。

## 国際コミュニケーション学部誕生



**異文化コミュニケーション学科**  
多様化する世界で他者と出会い文化とコミュニケーションを学ぶ

**日本語学科**  
国際社会とのつながりを考えながら日本語を分析する

神田キャンパスを置きながら国際社会とのつながりを見ていく。また、異文化コミュニケーション学科では、複数の言語を学びながら異文化への深い関心を多面的に捉える」と話す。

新設の異文化コミュニケーション学科は、地球規模の視野から多様性を学ぶことを目的に、高レベルの語学習得を図る。英語に加えて、ドイツ語、フランス語、韓国語から1言語、計2言語を必修とし、2年次にその言語圏のいずれかへの半期の留学を必修とする。

帰国後は、留学先での

多様な経験を基に、ワーキングホリデーやゼミ、授業の中で相互交流し、地域・文化・コミュニケーションについて理解を深める。鈴木健郎准教授(現・商学部)は「留学先で体験したことを、帰国後に学問的に捉え直す。外国語の習得のみを目的にするのではなく、多様な地域や、グローバルな文化を学ぶための日本語教師の養成」

を強化するほか、日本語教育にも対応可能な国語教員の育成も目指す。新聞社の校閲記者、ナレーター、養成所、劇作家など、実社会において日本語で伝えることの重要性に触れる機会として「協力を予定している。定員は、日本語学科11人、異文化コミュニケーション学科150人。

## 経済学部3学科に再編



**現代経済学**  
経済理論と統計学を基礎から身につけ、分析する力を養う

**生活環境経済学**  
「生活の質」向上のため、課題を発見し解決に取り組む

**国際経済学**  
世界の多様な現実を学び、現代の国際社会を理解する

複雑化しグローバル化が進む現代経済社会の変革に対応するための必要知識は、経済理論を積み重ねていく。生活環境経済学は、暮らしや生活の質に関する問題を経済学的視点で捉える。

「現代・生活環境・国際」の3学科となることで、これまで以上に専門性を究める学部となる。現代経済学では、統計学を基礎とし、最新動向を踏まえた教育を行う。田中隆之教授は「経済理論や歴史、政策など経済学の全領域にわたる体系的な学びと統計学の基礎を身につけたうえで、現実の経済問題を学び、分析できる能力を養成する。」

## 商学部神田に移転

2020年4月、商学部が神田キャンパスに全面移転する。「110年を超える『計理専修』の実学教育のDNAを神田に受け継ぎ、さらに大きな花を咲かせたい」と渡辺達朗商学部長は話す。

商学部は1905年、神田で「商科」として誕生、職業会計人を多く養成してきた。今回、70年ぶりに発祥の地に戻り、実学教育のさらなる充実を図る。現在でも、マーケティング学科は企業や地域と連携した課題解決型教育を実践しているが、ビジネス・政治の中心地に近い神田移転に伴い、さらに企業や地域との連携を強めていく。



建設が進む靖国通り神田新校舎(仮称)。右後ろは1号館。5月12日。

神田新校舎建設が進む。靖国通り神田新校舎(仮称)の工事が着々と進んでいる。新校舎は靖国通りに面し、地上16階建て。多目的ホールや教室、メディアセンター(図書館)などが入る。

15階はグローバルフロアとし、教員や学生、留学生らが多様な交流を行う。国際コミュニケーション学部の学生が留学準備や異文化体験の場として活用するほか、法・商両学部の学生も、教員や他学部の学生と交流を図ることが出来る。

1階にはカフェを併設。サクラなどを植栽し、地域に開かれた空間となる。完成は2020年春の予定。

## 佐々木重人学長

2020年、専修大学は140周年を迎えます。本年度の経営学部ビジネスデザイン学科、文学部ジャーナリズム学科開設に続き、20年度は国際コミュニケーション学部新設、経済学部「世界の中の日本」という視点

学問再編、商学部神田移転、そして神田キャンパスに新校舎が完成します。長年取り組んできたドラスティックな大学改革が、実を結び、「フレッシュスター」の年になります。

専修大学は、創立当初から「世界の日本の」という視点

## お知らせ

二部3学部は、2020年度以降の学生募集を停止します。